

## 予備自衛官等協力事業所大臣認定表示証贈呈式



贈呈式時の記念撮影（相模原地域事務所にて）

自衛隊神奈川地方協力本部（本部長 松田辰雄 1等海佐）は、3月9日（木）から22日（水）の間、「予備自衛官等協力事業所表示証」（防衛大臣認定1社・地本長認定10社）を県内の11社に交付した。

14日（火）には、県内初の防衛大臣認定となる「株式会社アリックス」代表取締役 三田義徳氏を相模原地域事務所へ招いて大臣認定表示証贈呈式を実施し、松田辰雄地本長が表示証を贈呈した。

神奈川地本では、「今後も本制度を活用し、予備自衛官雇用企業に対して予備自衛官等制度への一層の理解と協力の促進を図るとともに、新たな協力企業の開拓に努めていく」としている。

## 神奈川県防衛協会部隊研修を支援



予科練平和記念館で館内担当者の説明を聴く参加者たち



武器学校「小火器コーナー」見学時の様子

自衛隊神奈川地方協力本部（本部長 松田辰雄 1等海佐）は、3月15日（水）、土浦駐屯地における神奈川県防衛協会の部隊研修を支援した。

本研修には同会員15名が参加し、陸上自衛隊武器学校及び同駐屯地に隣接する予科練平和記念館などを見学した。

予科練平和記念館では、予科練習生の入隊から一人前の搭乗員として各戦線へ向かうまでの厳しい訓練の様子や、戦局の悪化によって多くの予科練出身者が戦地へ赴いていった史実の説明に、参加者たちは神妙な面持ちで聴き入っていた。また、併設された「雄翔館」では、予科練戦没者の遺書・遺品等を見学し、目頭を押さえる姿も見られるなど、非常に感銘を受けた様子であった。

午後は、武器学校において、駐屯地の沿革や武器化職種の概要についての説明後、施設見学などを行なった。特に、「小火器コーナー」見学では、自衛隊の新旧装備品や旧軍で使用された貴重な装備品等、普段目にするこのない小銃や機関銃に多くの質問が飛び交うなど、強い関心を示していた。

神奈川地方協力本部は、「今後も、自衛隊の活動に対する更なる協力支援体制の強化に向け、引き続き同協会との関係強化に努めていく」としている。

## 潜水艦親子見学ツアーを実施

自衛隊神奈川地方協力本部（本部長 1等海佐 松田辰雄）は、3月25日（土）、海上自衛隊第2潜水隊群の協力を得て、広報センターイベント「潜水艦親子見学ツアー」を実施した。

本イベントは、同地本広報センターの知名度の向上及び県民等の自衛隊に対する親近感の醸成を目的に主催したもので、インターネット等の公募で選ばれた親子ペア10組20名が参加した。

当日は、地本本部に集合して当初広報センターを案内したのち、第2潜水隊群に移動し、実際に潜水艦に乗艦して、艦内の発令所や居住空間などを見学した。

参加者たちは、普段は目にするこのできない潜水艦内部の説明に真剣に耳を傾けるとともに、潜望鏡の操作を実際に体験させて頂くなど、とても充実感に満ち溢れた様子であった。

また、ツアー終了後、参加者からは、「広報センターに展示されていた「入隊予定者の声」に感動しました」「艦内での乗組員の説明は、とても分かりやすく勉強になった」などの声を聞くことができた。

神奈川地本は、「今後も、自衛隊に対する理解と信頼を深められるよう、自衛隊をPRするイベントを積極的に企画していく」としている。